

■若山儀一 経済学者。〈維新〉直後、自由主義経済学者ペリィを訳述の「官版経済原論」も、官を辞し、保護貿易主義論を展開。

わかやまよしかず

勲進帳初演・1840＝ 江戸で、医師西川宗庵の子に生まれる。

幼くして、若山家の養子となり、

阿部正弘首座1845＝ 5歳：

北斎没・・・1849＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝13歳：

緒方洪庵の適塾に学び、緒方姓を許されるほどであったが、

五ヶ国条約・1858＝18歳：

桜田門外変・1860＝20歳：

蘭学から英学に移り。医学も捨てて、

大政奉還・・・1867＝27歳：

明治維新・・・1868＝28歳：開成所三等教授となり、

戊辰戦争終・・・1869＝29歳：大学中教授。\*アメリカの自由主義経済学者ペリィの著書を訳述した「官版経済原論」は、官版の名を冠した最初のものとして注目されるなど業績をあげて、

廃藩置県・・・1871＝31歳：大学出仕大助教準席に任じられ、フルベッキに就いて、経済学を学ぶ。\_岩倉特命全権大使の使節団一行に加わり、調査研究に従事。滞米中、公債証書及び銀行紙幣等の印刷業務監視にも従い、公務のかたわら、生命保険事業についても研究。

明治6年政変 1873＝33歳：\*帰国すると、大蔵官僚になって租税助・雑税法草制課長に栄進、直後に、初めて保護貿易主義を紹介・提唱する「保護税説」「同付録」を著述するなど、租税とその制度に関する意見書等を出して論議を起こし、その他多くの翻訳を成し、学究的態度をもって事務に従い、新知識の輸入・普及に大きく貢献したが、

三つの反乱・1876＝36歳：

西南戦争・・・1877＝37歳：\*省内大異動に際して、官を辞し、浪人生活に入る。イギリス人パイルズの「自由貿易の詭弁及び通俗経済学」を訳出し、長文の自説を添えて、「自由交易穴探」を刊行、持論の保護貿易主義を力説。

明治14年政変1881＝41歳：

秩父事件・・・1884＝44歳：参事院議官補に抜擢されるも、

内閣発足・・・1885＝45歳：同院の廃止で廃官非職となり、

帝国憲法発布1889＝49歳：非職満期で再び浪人生活に入り、

大津事件・・・1891＝51歳：\_没した。